

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公表番号】特表2003-510339(P2003-510339A)

【公表日】平成15年3月18日(2003.3.18)

【出願番号】特願2001-527648(P2001-527648)

【国際特許分類】

A 0 1 N	43/16	(2006.01)
A 0 1 N	47/40	(2006.01)
A 0 1 N	51/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/365	(2006.01)
A 6 1 K	31/426	(2006.01)
A 6 1 K	31/44	(2006.01)
A 6 1 K	31/4439	(2006.01)
A 6 1 K	31/53	(2006.01)
A 6 1 K	31/5395	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	33/14	(2006.01)

【F I】

A 0 1 N	43/16	C
A 0 1 N	47/40	
A 0 1 N	51/00	
A 6 1 K	31/365	
A 6 1 K	31/426	
A 6 1 K	31/44	
A 6 1 K	31/4439	
A 6 1 K	31/53	
A 6 1 K	31/5395	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	33/14	

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月25日(2007.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

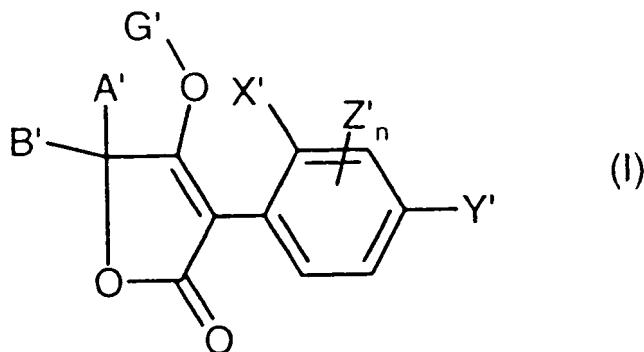
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】式(I)

【化1】



{ 式中、X'はC₁-C₆アルキル、ハロゲン、C₁-C₆アルコキシもしくはC₁-C₃ハロゲノアルキルを表し、

Y'は水素、C₁-C₆アルキル、ハロゲン、C₁-C₆アルコキシ、C₁-C₃ハロゲノアルキルを表し、

Z'はC₁-C₆アルキル、ハロゲン、C₁-C₆アルコキシを表し、

nは0から3までの数字を表し、

A'及びB'は、同一もしくは異なっており、またこれらのそれぞれは、水素を表すか、又はそれぞれの場合にハロゲンで場合により置換された直鎖のもしくは枝分れしたC₁-C₁₂アルキル、C₃-C₈アルケニル、C₃-C₈アルキニル、C₁-C₁₀アルコキシ-C₂-C₈アルキル、C₁-C₈ポリアルコキシ-C₂-C₈アルキル、C₁-C₁₀アルキルチオ-C₂-C₈アルキル；酸素及び/又は硫黄で遮断されていてもよい、3個乃至8個の環構成原子を有するシクロアルキル；及び

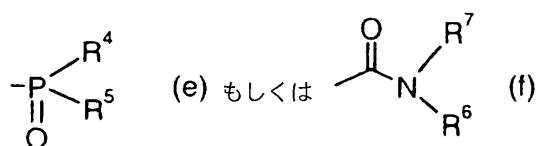
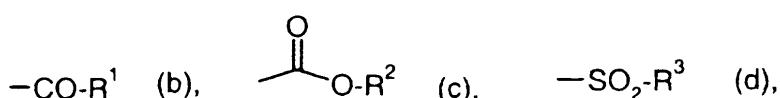
それぞれの場合にハロゲン、C₁-C₆アルキル、C₁-C₆ハロゲノアルキル、C₁-C₆アルコキシ、C₁-C₆ハロゲノアルコキシ、及び/又はニトロで場合により置換されたフェニルもしくはフェニル-C₁-C₆アルキルを表すか、

又は

A'及びB'は、それらが結合している炭素原子と一緒にになって酸素及び/又は硫黄で場合により遮断されており、且つ、ハロゲン、C₁-C₆アルキル、C₁-C₆アルコキシ、C₁-C₄ハロゲノアルキル、C₁-C₄ハロゲノアルコキシ、C₁-C₄アルキルチオもしくは場合により置換されたフェニルで場合により置換されているか又は場合によりベンゾ縮合している、飽和もしくは不飽和の3員環乃至8員環を形成し、

G'は水素(a)を表すか又は基

【化2】



[該基中、R¹はそれぞれの場合にハロゲンで場合により置換されたC₁-C₂₀アルキル、C₂-C₂₀アルケニル、C₁-C₈アルコキシ-C₂-C₈アルキル、C₁-C₈アルキルチオ-C₂-C₈アルキル、C₁-C₈ポリアルコキシ-C₂-C₈アルキル；もしくは酸素及び/又は硫黄原子で遮断されていてもよい、3個乃至8個の環構成要素を有するシクロアルキ

ルを表し、

ハロゲン、ニトロ、C₁ - C₆アルキル、C₁ - C₆アルコキシ、C₁ - C₆ハロゲノアルキル及び／又はC₁ - C₆ハロゲノアルコキシで場合により置換されたフェニルを表し；

ハロゲン、C₁ - C₆アルキル、C₁ - C₆アルコキシ、C₁ - C₆ハロゲノアルキル及び／又はC₁ - C₆ハロゲノアルコキシで場合により置換されたフェニル - C₁ - C₆アルキルを表し、

それぞれの場合にハロゲン及び／又はC₁ - C₆アルキルで場合により置換されたピリジル、ピリミジル、チアゾリル及びピラゾリルを表すか、

又はハロゲン及び／又はC₁ - C₆アルキルで場合により置換されたフェノキシ - C₁ - C₆アルキルを表し、

R²は、それぞれの場合にハロゲンで場合により置換されたC₁ - C₂₀アルキル、C₂ - C₂₀アルケニル、C₁ - C₈アルコキシ - C₂ - C₈アルキル、C₁ - C₈ポリアルコキシ - C₂ - C₈アルキルを表し、

それぞれの場合にハロゲン、ニトロ、C₁ - C₆アルキル、C₁ - C₆アルコキシ及び／又はC₁ - C₆ハロゲノアルキルで場合により置換されたフェニルもしくはベンジルを表し、

R³、R⁴及びR⁵は、相互に独立して、それぞれの場合にハロゲンで場合により置換されたC₁ - C₈アルキル、C₁ - C₈アルコキシ、C₁ - C₈アルキルアミノ、ジ(C₁ - C₈)アルキルアミノ、C₁ - C₈アルキルチオ、C₂ - C₅アルケニルチオ、C₂ - C₅アルキニルチオ、C₃ - C₇シクロアルキルチオをそれぞれ表し、それぞれの場合にハロゲン、ニトロ、シアノ、C₁ - C₄アルコキシ、C₁ - C₄ハロゲノアルコキシ、C₁ - C₄アルキルチオ、C₁ - C₄ハロゲノアルキルチオ、C₁ - C₄アルキル及び／又はC₁ - C₄ハロゲノアルキルで場合により置換されたフェニル、フェノキシもしくはフェニルチオを表し、R⁶及びR⁷は、相互に独立して、それぞれの場合にハロゲンで場合により置換されたC₁ - C₂₀アルキル、C₁ - C₂₀アルコキシ、C₂ - C₈アルケニル、C₁ - C₂₀アルコキシ - C₁ - C₂₀アルキルをそれぞれ表し、ハロゲン、C₁ - C₂₀ハロゲノアルキル、C₁ - C₂₀アルキルもしくはC₁ - C₂₀アルコキシで場合により置換されたフェニルを表し、ハロゲン、C₁ - C₂₀アルキル、C₁ - C₂₀ハロゲノアルキルもしくはC₁ - C₂₀アルコキシで場合により置換されたベンジルを表すか、又は一緒になって酸素で場合により遮断されたC₂ - C₆アルキレン環を表す。]

を表す。}

の化合物とニコチン性アセチルコリン受容体の少なくとも1種のアゴニストもしくはアンタゴニストからなる、共働作用上(synergistically)有効な混合物を含む組成物。

【請求項2】 X'はC₁ - C₄アルキル、ハロゲン、C₁ - C₄アルコキシもしくはC₁ - C₂ハロゲノアルキルを表し、

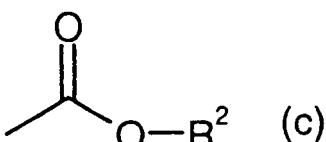
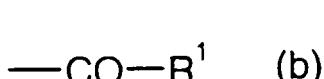
Y'は水素、C₁ - C₄アルキル、ハロゲン、C₁ - C₄アルコキシ、C₁ - C₂ハロゲノアルキルを表し、

Z'はC₁ - C₄アルキル、ハロゲン、C₁ - C₄アルコキシを表し、

nは0もしくは1を表し、

A'及びB'は、それらが結合している炭素原子と一緒にになって、C₁ - C₄アルキル及び／又はC₁ - C₄アルコキシで場合により置換された、飽和の5員環乃至6員環を形成し、G'は、水素(a)を表すか、又は基

【化3】



[該基中、R¹は、それぞれの場合にハロゲンで場合により置換されたC₁ - C₁₆アルキル、C₂ - C₁₆アルケニル、C₁ - C₆アルコキシ - C₂ - C₆アルキル、もしくは1個乃至2個の酸素及び/又は硫黄原子で遮断されていてもよい、3個乃至7個の環構成原子を有するシクロアルキルを表し、

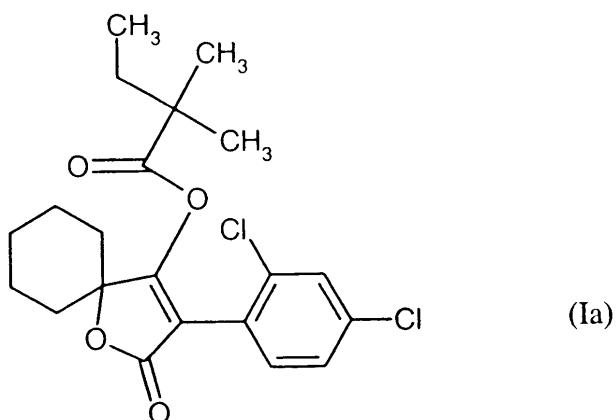
ハロゲン、ニトロ、C₁ - C₄アルキル、C₁ - C₄アルコキシ、C₁ - C₃ハロゲノアルキル及び/又はC₁ - C₃ハロゲノアルコキシで場合により置換されたフェニルを表し；

R²は、それぞれの場合にハロゲンで場合により置換されたC₁ - C₁₆アルキル、C₂ - C₁₆アルケニルもしくはC₁ - C₆アルコキシ - C₂ - C₆アルキルを表し、

それぞれの場合にハロゲン、ニトロ、C₁ - C₄アルキル、C₁ - C₄アルコキシ及び/又はC₁ - C₄ハロゲノアルキルで場合により置換されたフェニルもしくはベンジルを表す。]を表す、請求項1に記載の式(I)の化合物と、ニコチン性アセチルコリン受容体の少なくとも1種のアゴニストもしくはアンタゴニストとからなる共働作用上有効な混合物を含む組成物。

【請求項3】 式(Ia)

【化4】



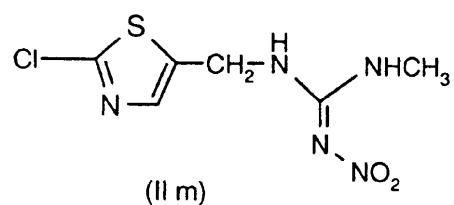
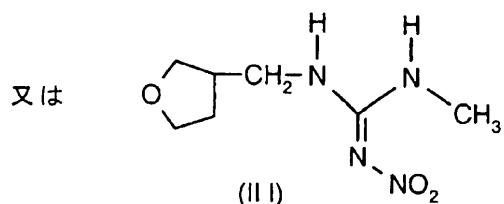
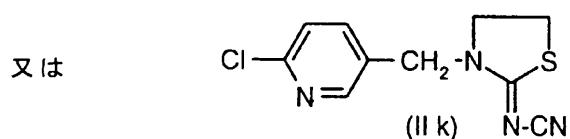
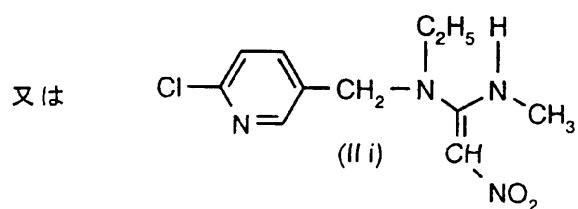
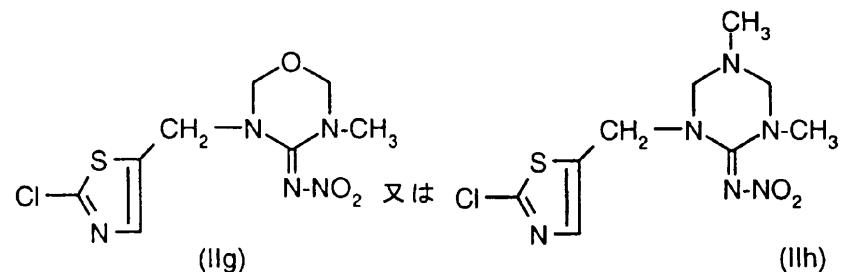
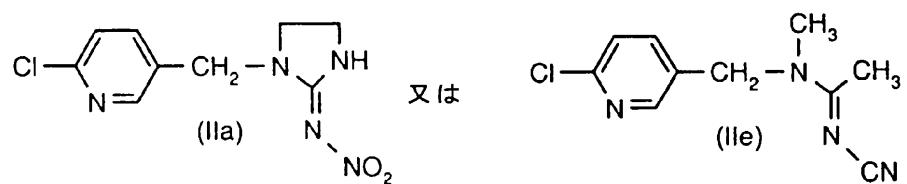
の化合物と、ニコチン性アセチルコリン受容体の少なくとも1種のアゴニストもしくはアンタゴニストからなる共働作用上有効な混合物を含む組成物。

【請求項4】 式(I)の化合物及び、ニコチン性アセチルコリン受容体のアゴニストもしくはアンタゴニストを1:100~100:1の比率で含む、請求項1、2及び3のいずれかに記載の組成物。

【請求項5】 請求項1、2及び3のいずれかに定義した混合物を動物に対する有害生物及び/又はそれらの生息環境に作用させることを特徴とする、動物に対する有害生物の防除方法。

【請求項6】 下記化合物

【化5】



の中の少なくとも 1 種を含む、請求項 1、2、3 及び 4 のいずれかに記載の混合物。